

事業の背景・目的

シマフクロウ保護増殖事業の一環として、飼育下での遺伝的多様性を維持しつつ継続的継代飼育を維持するために、個体数と飼育園数を増やすことが公益社団法人日本動物園水族館協会（以下ＪＡＺＡ）シマフクロウ管理計画上の目標であり、秋田市大森山動物園が平成３１年３月末から新規飼育園となった。新たにシマフクロウを導入し、飼育繁殖を行うことで、ＪＡＺＡにおけるシマフクロウ管理計画を推進させるとともに、国の保護増殖事業計画における生息域外保全を強化する。

事業の内容

事業：シマフクロウ飼育管理研修
実施内容：日常のシマフクロウ飼育管理および繁殖（孵化育雛）技術習得
期間：令和元年１０月７日から令和元年１０月９日
場所：釧路市動物園

得られた成果

現在、メス１羽のみの飼育であるため、得られた技術をすぐに活かすことはできないが、当園でこれまで培った他種（イヌワシやシロフクロウ）の実績も活かしながら、ペアが形成された際に取り組んでいく。
今後も、引き続きＪＡＺＡのシマフクロウ計画管理者と連絡をとり、個体導入・ペア形成に向けて働きかけていく。ペア形成後はシマフクロウ他飼育園とも連絡を取り、繁殖技術の意見交換を行うとともに、シマフクロウの生息域外保全について普及啓発に努めていく。